

学 長 定 例 記 者 会 見 要 項

日 時：平成25年2月5日(火) 11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

発 表 事 項

- 1.平成25年度政府予算(案)における運営費交付金の状況について
- 2.山形大学が「子ども未来創生計画」プロジェクトを支援
- 3.AMS で重要文化財尾形家住宅が東北地方最古級の古民家であることを実証
- 4.山形大学人文学部 - 長井市 連携協力締結3周年記念シンポジウムを開催

お 知 ら せ

- 1.有機エレクトロニクスシンポジウム in 米沢 2013
「有機エレクトロニクスの未来を切り開く」の開催
- 2.山形大学YU - GP 教育プログラム
「現地学習を中心にした災害復興学の実践」の学生報告会の開催
- 3.やまがた夜話 最上義光 - 没後400年を記念して - の開催
- 4.大学コンソーシアムやまがた 合同企業説明会の開催
- 5.イオンモール石巻で「科学で東北を盛り上げ隊@石巻」を開催

(参 考)

次回の学長定例記者会見(予定)

日 時：平成25年2月20日(水)11:00～11:30

場 所：事務局第二会議室(小白川キャンパス、事務局4階)

平成25年 2月 5日
山形大学

平成25年度政府予算(案)における 運営費交付金の状況について

1. 運営費交付金（復興特別会計計上分を含む）

平成25年度予算額（案）	11,702百万円
平成24年度予算額	12,163百万円
増減額	461百万円（3.79%減）

2. 主な新規事項

（教育研究プロジェクト関係）

地域リーダー育成のための実践教育プログラムの実施
戦略的意思決定のための全学統合型IRシステム構築による大学教育マネジメント・サイクルの持続的発展

（復興関連事業）

総合研究棟改修（地域教育文化学部）
附属小学校改修

3. 復興特別会計計上分（再掲）

被災学生に係る授業料等免除分	88百万円 （前年度 118百万円）
----------------	-----------------------

（お問い合わせ）
財務部財務課
電話：023-628-4041

平成25年2月5日

山形大学

山形大学が『子ども未来創生計画』プロジェクトを支援

～こどもたちの意見を、もっと社会へ、もっと未来へ～

南東北（山形県、福島県、宮城県）の子ども達を対象とした、子ども達の意見を発信するためのプロジェクト『子ども未来創生計画』が開始されます。

開始までの道のり

子ども支援フェイスブックプロジェクトは2011年12月に立ち上げられました。フェイスブック上に子ども支援の提案をしてもらい、それをネット上で討論して、プロジェクトを展開するという独自の方法を用いて、この一年間に4つのプロジェクトを展開してまいりました。

そのなかにファーストライト・プロジェクト（望遠鏡の初観測の時に、初めて通す光のことをファーストライトと言う）があります。これは「子どもたちに情報発信の機会を与えよう！」という提案に基づいて、ビデオカメラを貸し出して、自由に撮影してもらうことから始めました。

このプロジェクトの成果と反省の上に立って、今回「子ども未来創生計画」を立ちあげました。

目的

現在、大人たちによって被災地の復興計画が立ちあげられ、多くが実施に移されています。しかし10年から20年かかると言われる復興の中で、将来活躍するのはいまの子どもたちであり、まず彼ら、彼女らの声を聞くべきです。そこで、子ども達による情報発信の機会をつくるプロジェクトを企画しました。

子ども達が自主的に、自分たちが感じたこと、考えていることを発信する。それを大人がサポートする。これがこのプロジェクトの骨子です。

具体的な活動

子どもたちに発言の機会をつくるという目標を実現するために、3つのアプローチを実施します。

子どもたちが自主的にテーマを選び取材を進める

「子ども放送局」の開始

子どもたちの意見を広く集めて作成する

「子ども未来白書」の出版

こうして集めた声を日本や世界に向けて発信する

「子ども未来サミット」の開催

今、東北に住む私たちは心をつなげて被災地の復興に、そしてそのことを介して東北全体の発展に取り組まなければなりません。子どもたちにも、東北の仲間たちがお互いに手を差し伸べてあって新しい未来を作って行ってほしいのです。このために、このプロジェクトは、手始めとして南東北三県（宮城、山形、福島）の子どもたちの共同作業によって進められます。

この活動は、山形大学の後援の元に実施されます。

（お問い合わせ先）

子ども支援フェイスブックプロジェクト
代表

仙道 富士郎

Tel 023-672-8585 fax 023-672-8586

fujirosendo_access_notice@yahoo.co.jp

山形大学渉外部渉外課

大学連携担当

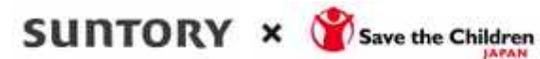
Tel 023-628-4842 fax 023-628-4820

daiaren@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

「子ども未来創生計画」

～こどもたちの意見を、もっと社会へ、もっと未来へ～

後援：



Smile Trade10%の活動：

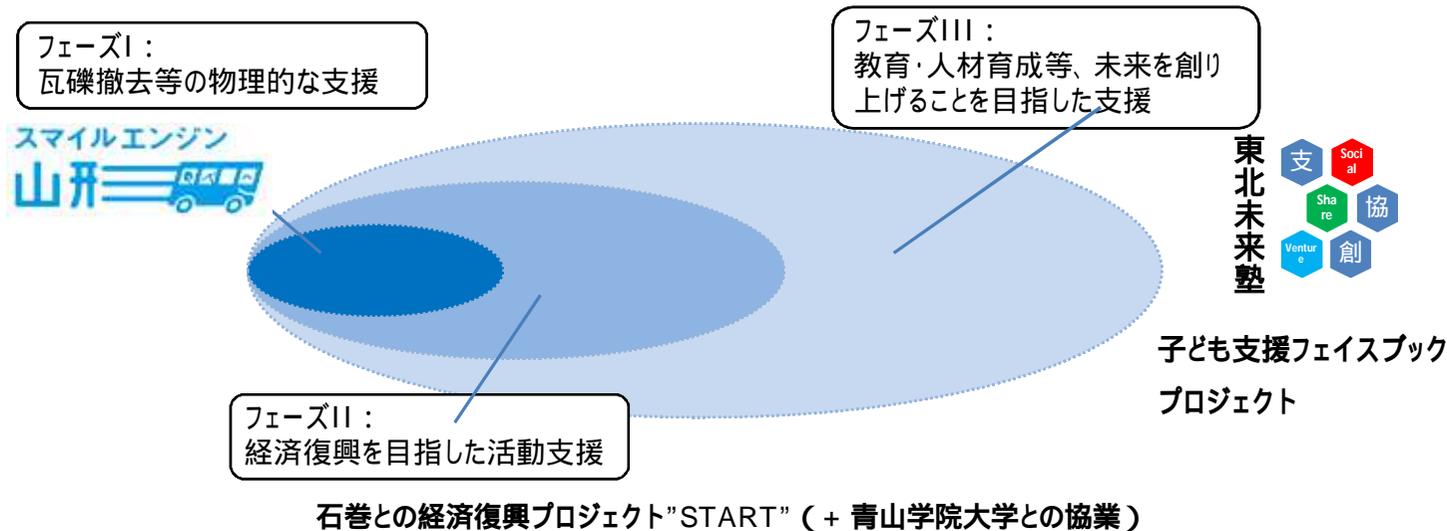
311以降、山形大学と東北芸術工科大学の教職員、学生有志がスタート
現在は、さまざまな具体的な活動が展開されている

基本理念：

日常生活の中のリソース（時間、労力、アイデア、お金）の10%を復興支援活動に充てる

ことを目標に、多くの人が無理なく参加できる活動や仕組みの構築

震災直後から支援活動を、**3つのフェーズに分けて活動を展開**



スマイルエンジンとは：

3つの特徴

- 学生主体の運営 社会人も参加可能 活動後の振り返りワークショップ
- ✓ 毎週土曜日に石巻へ日帰りボランティアバスを運行
 - ・延べ実施回数：49回
 - ・延べ参加者数：約1,800人

東北未来塾とは：

- ・震災後に築くべく世界を真剣に問い、求め、創り上げるための場
- ・ソーシャル、シェア、ベンチャースピリッツの3つテーマ
- ✓ 2011年5月の開塾シンポジウム以降、10回実施
- ✓ 延べ参加者数：約400人（学生、教職員、社会人が参加）

石巻との経済復興プロジェクト"START"とは

プロジェクトの特徴

- ✓ 専門スキルの活用（東京のプロボノチームが参画）
- ✓ 大学生の新鮮な視点の活用（山形大学、芸工大、青山学院大学等）
- ✓ NPOネットワークの活用（山形や東京、石巻のNPOとの協業）

子ども支援フェイスブック・プロジェクト

震災以降、手薄となってしまっている被災地の子供達への支援活動をFacebookの仕組みを活用しながら促進していく活動。

『子ども支援活動支援・インキュベーション』

- ✓ 子供支援を考える人々のコミュニティ形成とプロジェクトを生み出す
- ✓ インキュベーション機能をFacebook上に作成
- ✓ 活動を支援するプロフェッショナルサポートと資金を提供していくことを目指す

子ども支援フェイスブック・プロジェクト： 「子ども未来創生計画」プロジェクト開始までの道のり

子ども支援フェイスブックプロジェクトは2011年10月に発表され12月にFacebookページが立ち上げられました。
フェイスブック上で、子ども支援に関する提案を募り、それをフェイスブックページ上でソーシャルに議論し、プロジェクト化するという独自の方法を用いて、この一年間に下記の4つのプロジェクトを展開してまいりました。

1) マイデコヘルプロジェクト：
防災教育の一環として、児童にヘルメット
を与えペインティング、工作などにより、
自分の好きなヘルメットを作ってもらおう。
山形大学附属小学校で実施



3) ファーストライトプロジェクト：
被災地の子どもたちの考え方、感じ方を復興
に役立てることを最終目標に、子どもたちから
の発信をサポートする。福島から山形にサマー
キャンプに来た子ども達に、子どもレポーターと
なってもらい、インタビューや取材活動演習を
行いました。上映会も実施。
望遠鏡の初観測の時に、初めて通す光のことを
ファーストライトと言う



 復興支援のアイデアを募り
Facebook上でプロジェクト化



2) 子どもの被災地スタディツアー支援：
非被災地の子どもたちに被災地の状況を見てもらい、震災の実情を知り、将来的に被災地の子どもたちと考え方を共有してもらおう。
米沢2中の中学生対象便やこれまでに、山
大生、東北大生、立命館、青学、広島大などの
学生や中学校等の教員が参加しています。

4) ママたちと子ども支援プロジェクトとのお話し会：
福島から避難してきている母親たちの考えを聞き、
彼女たちが必要としている情報を供与することを
目的にお話し会を開催する。



「子ども未来創生計画」プロジェクト概要

背景：未来の主演達の意見をまとめて発信しよう！

2011年に発生した東日本大震災は、日本や世界の未来に向けて大きな問いかけにもなりました。それは「これからの社会をどうつっていくのか」といった未来志向の問いかけです。

しかし、この大事な未来に向けての問いかけに答えていくためには、一番大切な要素が欠けてしまっています。

それは、**未来の主演であり未来を創造する担い手である子ども達の意見**です。

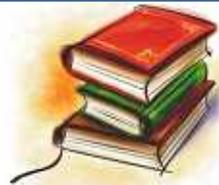
そこで、こうした状況を変えて**子ども達の声を集め、必要なところに届けたり発信したりすることを目標にこの「子ども未来再生計画」を実施**することと致しました。

具体的な活動

子どもたちに発言の機会をつくるというシンプルな目標を実現するために、3つのアプローチを実施します。



子どもたちが自主的にテーマを選び取材を進める
「子ども放送局」の開局



子どもたちの意見を広く集めて作成する
「子ども未来白書」の出版



こうして集めた声を日本や世界に向けて発信する
「子ども未来サミット」の開催

「子ども未来創生計画」プロジェクト概要 3つの特徴

1. ポイント：子ども達が主役です。

子ども達の視点や発想、自主性を重視した活動です。大人はファシリテーター出来にプロジェクトを推進していく影のエンジンとなることがポイントになります。

大人の役割：

取材の段取りや編集などをサポートしたり、組織を運営したり、全体のスケジュール管理や会計、広報活動等がメイン。ファシリテーターであり、サポーター。

子どもの役割：

主役であり、自主的に考えたことややりたいことを積極的にプランし、その実現をリクエストするオリジネーターとしての役割。ディレクターであり、発信者。

2. 特徴：子ども達の想いを社会に届けるために発信します。

子ども達の声が未来に生かされるように、このプロジェクトでは**子ども達の視点を生かすことを最優先**します。

それは、これまでのニュースやイベントとは違って、子ども達が未来に向けて語りかけるようなものになるように、子どもの発想を最大限に生かして大事に創り上げていきます。

大人達は、子どもからの伝言を社会にうまく伝える役割を担うことになります。

3. 信条：子ども達の気持ちが伝わり、大人が耳を傾ければ、きっと未来は変わっていく。

未来を再び、子ども達のために取り戻す。**子どもと大人が、未来について一緒に考える機会を作る。**

そうしたことを実現するために、このプロジェクトでは、子どもの気持ちを世界に伝える活動を展開していきます。

備考：

「子ども未来創生計画」は、サントリーとセーブ・ザ・チルドレンのファンド支援の認定を受けています。



The screenshot shows the website for the Fukushima Smiles Fund, a collaboration between Suntory and Save the Children Japan. The page has a navigation menu with five items: お知らせ (Notice), ファンドについて (About the Fund), 実施主体 (Implementing Organization), 活動報告 (Activity Report), and お問い合わせ (Contact Us). The main content area is titled "2013年度は、下記15事業への支援が決定しました。" (For the 2013 fiscal year, support for the following 15 projects has been decided). It lists five projects, with the fifth project highlighted by a red dashed border.

福島子ども支援NPO助成プロジェクト
フクシマスマイルズ ファンド

SUNTORY × Save the Children JAPAN

お知らせ ファンドについて 実施主体 **活動報告** お問い合わせ

2013年度は、下記15事業への支援が決定しました。

1.
団体名：特定非営利活動法人 MMサポートセンター
主な活動エリア：福島県全域
活動概要：原発事故により避難した発達障がい児やその家族を対象とした、移転先地域での新しい暮らしの支援事業。
2.
団体名：公益財団法人 福島県国際交流協会
主な活動エリア：福島県全域
活動概要：災害時の弱者でもある外国籍の親子を取り巻く支援団体や関係機関の連携を図る会議等の実施事業。
3.
団体名：小国からの咲顔
主な活動エリア：福島県福島市、伊達市、郡山市
活動概要：サロンを運営する拠点を開設し、母子のリフレッシュや母親同士のネットワークを図る事業。
4.
団体名：特定非営利活動法人 郡山ハッピー子育てネットワーク
主な活動エリア：福島県郡山市
活動概要：屋内遊び場の運営、専門的な相談及び、室内遊びに関する情報提供を行う事業。
5.
団体名：子ども支援フェイスブックプロジェクト
主な活動エリア：福島県全域、山形県全域
活動概要：震災に直面している子どもの声の社会化を目的に子ども記者による取材や白書の発行等を図る事業。

備考：

STARTの活動状況【3.11に学び未来へと繋ぐ旅「石巻ツタディツアー」】

概要

石巻中心市街地のみなさんと一緒に、石巻へのツアープログラムを開催しています。

ツアー参加者と、石巻や現地の方との繋がりや継続的な関心層を増やすことで、以下の循環を創ります。（過去11回開催）

人 = 交流人口、石巻での消費人口の増加

お金 = 参加者が現地でお金を使う・地場の商品を買う、語り部さんへの謝礼など

縁 = 石巻とそこに住む人を身近に感じ、継続的に応援してくれるファンを増やす

ツアーに“学び”の要素を組み込むことで、防災や地域コミュニティ、社会のあり方など
これからの社会に必要とされる事柄について考える場の創出を目指しています。

実施状況

- ・総参加者数：301名
- ・参加者のエリア：山形、宮城（仙台）、岩手、千葉、東京、東京、千葉、埼玉、神奈川、名古屋、京都、岡山、広島、大分
- ・参加者の特徴：中学生、高校生、大学生、社会人、中学教員、高校教員、大学教員、中学生保護者など

1日のツアースケジュール(例)

7：00 山形出発^{SEP}

9：00 日和山、門脇小学校、石巻漁港などを視察

12：00 昼食「いしのみ キッチン」

13：00 まち歩き

（石巻まちなか復興マルシェ、立町復興ふれあい商店街、石巻中心市街地の人たちとの交流や買い物、復興支援団体のスタッフのお話など）

14：30 ディスカッション(ツアーの感想や意見を共有、議論をしていきます。)

17：00 終了・解散

19：00 山形着

備考：

STARTの活動状況【3.11に学び未来へと繋ぐ旅「石巻ツタディツアー」】

活動サマリー

スタートアップ/トライアルツアー 開催日：2011.12.08 参加人数：24名
初めてのツアー。社会人やメディアの方々為主に参加。仮設住宅に住む方々との食事会なども行う。

青山学院大学対象モニタツアー 開催日：2012.02.12 参加人数：53名
青山学院大学『青学ボランティアステーション』の学生を対象としたツアー。

東北大学生対象ツアー 開催日：2012.05.04 参加人数：31名
東北大学からの依頼による、新入生の為のツアー。『スマイルエンジン山形』と連携し、2日間のプログラムに。

教員対象ツアー 開催日：2012.06.30 参加人数：21名
中学校の先生を中心に参加したプログラム。被災地の学校を見学し教員との交流や意見交換などを行う。

立命館大学&京都造形大学対便ツアー 開催日：2012.08.19 4参加人数：3名
山形大学と立命館大学の学生の為のツアー。

青山学院大学対象ツアー 開催日：2012.08.21/08.30 参加人数：計51名
『青学ボランティアステーション』のスタッフとの協働ツアー。被災地に来た事のない青山学院大学の学生を対象。

石巻/雄勝/女川の被災地防災研修 開催日：2012.09.15 参加人数：22名
石巻専修大学の丸岡泰教授との共同企画。大川小学校や雄勝、女川などを中心に視察し、語り部の話を聞きながら防災に関して学ぶ企画。

中学生と保護者対象ツアー 開催日：2012.10.27 参加人数：23名
教員対象便に参加した、米沢の中学校教員との協同企画。

ソロプチミスト協会有志対象ツアー 開催日：2012.
12.7 参加人数：7名
ソロプチミスト山形協会の有志を対象にしたミニツアー。

山形大学学生対象ツアー 開催日：2013.1.18参加人数：26名
山形大学対象のツアー。STARTの1年生スタッフが企画運営した。

今後の予定

社会人対象ツアー 開催日：2012.3月実施予定 募集対象人数：30名

平成25年2月5日
山形大学

AMSで重要文化財尾形家住宅が東北地方最古級の古民家であることを実証

高感度加速器質量分析装置（AMS）で国指定重要文化財旧尾形家住宅の年代調査を実施、東北地方最古級の古民家であることが確かめられました。

山形大学総合研究所（上山市）の高感度加速器質量分析装置（AMS）を用いて、国指定重要文化財旧尾形家住宅（以下尾形家住宅という）の年代調査を行い、尾形家住宅が東北地方最古級の17世紀に建てられた古民家であることが実証されました。

尾形家住宅は上山市下生居にあり、昭和44年（1969）に国の重要文化財指定を受け、昭和51年に文化財修理・復原整備が行われています。修理工事の際の調査では墨書など建築年代の記された記録は発見できませんでしたが、建築様式や技法から17世紀末に建てられたと推定されました。

尾形家住宅の建築年代を明らかにするために、上山市のご協力を得て、尾形家住宅AMS年代調査を行いました。測定試料は8部材で、尾形家住宅建築当初材が5部材と、中門改造材が3部材です。重要文化財を構成する貴重な部材なので、床下などから微量の試料を採取しました。微量でも正確な測定ができるAMSの特性を最大限に生かした調査となりました。

調査の結果、当初部材はいずれも17世紀後期の年代となりました。その中でも土間上部に架けられた中引梁（なかびきばり、尾形6）は表皮のついた材で、得られた年代（1678-1699年）はこの中引梁の伐採された年代となります。伐採後の製材や建設地への運搬、建築工事にかかる時間を推定加算し、17世紀末期（1690年代）に尾形家住宅が建築されたことが判明しました。そして18世紀末期に中門が改造されて現在の姿となりました。

東北地方の古民家では、滝沢本陣横山家住宅（福島県）が延宝6年（1678）の建築で最も古く、次いで秋田の土田家・鈴木家が17世紀後半とされています。尾形家住宅はそれらに次ぐ古い民家となりました。AMS年代調査により、尾形家住宅が東北地方最古級の古民家であることが実証されました。

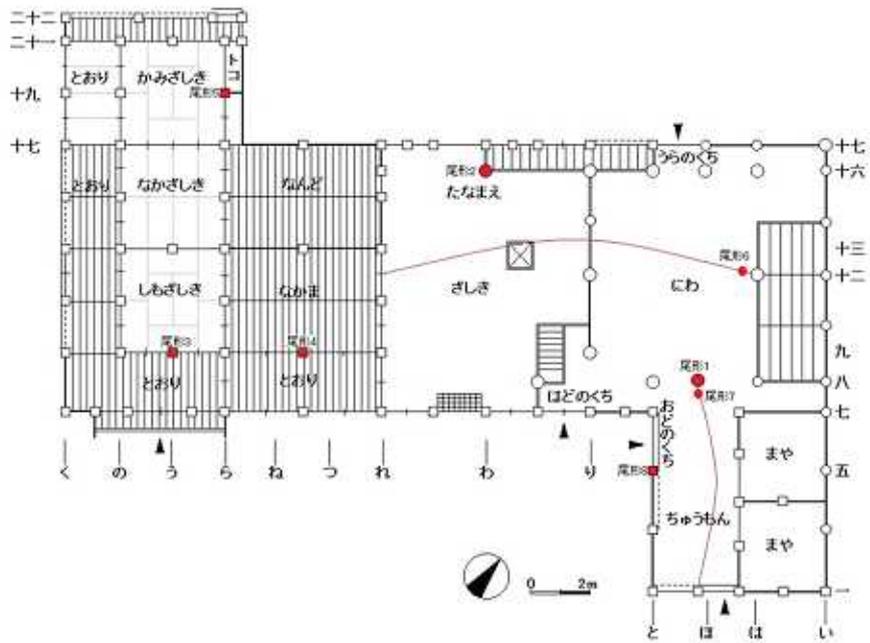


図1 尾形家住宅平面番付・採取位置図

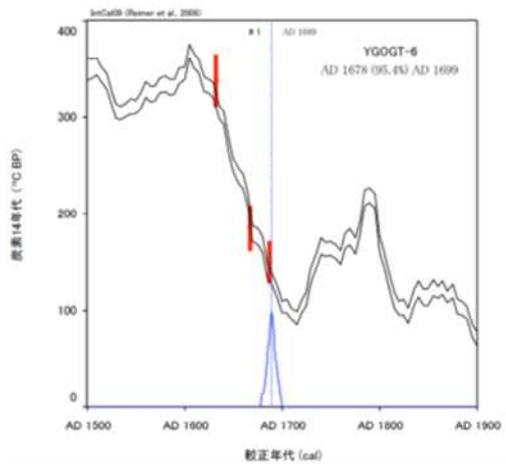


図2 尾形6 解析と資料写真

(お問い合わせ)
 理学部物理学科 教授
 門叶 冬樹(とかない ふゆき)
 TEL: 023(628)4554
 武蔵大学総合研究所
 中尾 七重(なかお ななえ)
 上山市教育委員会生涯学習課
 TEL: 023(672)1111

平成25年2月5日
山形大学

山形大学人文学部 - 長井市

連携協力締結3周年記念シンポジウムを開催します！

人文学部は、長井市との連携協力協定締結3周年を記念し『地方都市の持続可能な発展を目指して』と題する公開シンポジウムを開催します。人文学部の連携事業の成果を是非聴きにいらしてください！

併せて、同名の書籍を山形大学出版会から出版します。

【長井市と山形大学人文学部との連携に関する協定について】

平成22年1月に「双方が多様な分野で包括的に連携・協力し、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的」に締結。これまで、「ながい市民未来塾特別講座研修」、シンポジウム「長井の未来・幸せを話そう！」などの事業を実施してきている(人文学部が地方自治体と締結した初の連携協定)。

平成22年1月の連携協定調印式



【シンポジウムの概要】

日時：平成25年2月17日(日) 17:00～19:00

19:30～情報交換会

場所：財団法人置賜地域地場産業センター3F会議室(タスパークホテル内)
長井市館町北6-27

参加費：無料

情報交換会：4,500円

内容：第1部

『地方都市の持続可能な発展を目指して』の出版刊行にあたって

第2部

パネルディスカッション 内谷長井市長、北川人文学部長ほか

詳細は別添チラシをご覧ください。

【お問合せ先】

山形大学人文学部地域連携推進室 担当；樋口

電話：023-628-4203

Mail: jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

山形大学人文学部 - 長井市
連携協力協定締結三周年記念シンポジウム

『地方都市の持続可能な発展を目指して』

日時：平成 25 年 2 月 17 日（日） 17:00～19:00
19:30～情報交換会
場所：(財)置賜地域地場産業振興センター 3F 会議室
(タスパークホテル内)

所在地：長井市館町北 6-27 TEL 0238-88-1815

参加費：無料

情報交換会費：4,500 円

目指して
Sustainable development
持続可能な発展を
Local city
地方都市の

《プログラム》

16:00～ 受付

17:00～17:05 開会のあいさつ 内谷重治 長井市長

17:05～17:45

第 1 部 『地方都市の持続可能な発展を目指して』の出版

刊行にあたって 北川忠明

第 1 章 「地域政策としての総合計画」 山田浩久

第 2 章 「経済学的な視点で考える」 是川晴彦

第 3 章 「ローカリズムとコミュニティガバナンス」 北川忠明

第 4 章 「長井市の地域構成」 山田浩久

第 5 章 「中心市街地活性化の実践」 下平裕之

第 6 章 「町づくりの実践」 村松 真

総括 北川忠明

17:45～17:50 【休憩】

17:50～19:00

第 2 部 パネルディスカッション『長井市のまちづくり』

コーディネーター /

北川忠明 (山形大学人文学部長)

パネリスト /

内谷重治氏 (長井市長)

青木孝弘氏 (長井まちづくり NPO センター事務局長)

鈴木周子氏 (ながい市民未来塾塾生)

下平裕之 (山形大学人文学部教授)

山田浩久 (山形大学人文学部教授)

19:00 閉会

19:30～ 情報交換会

主催 山形大学人文学部

共催 長井市

後援 山形県 / 長井市地区長連合会 / 長井商工会議所 / 山形おきたま農業協同組合 / 長井市観光協会 / 公益社団法人長井青年会議所 / 社団法人長井教育会 / 国際ソロプチミスト長井 / 長井ライオンズクラブ / 長井ロータリークラブ / 長井中央ロータリークラブ / 特定非営利活動法人長井まちづくり NPO センター / 財団法人置賜地域地場産業振興センター / 山形新聞・山形放送 (調整中を含みます)

お問合せ・お申込み(当日参加も受け付けます)

山形大学人文学部地域連携室

TEL : 023-628-4203 FAX : 023-628-4212 E-Mail : jisoumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

プレス通知資料（概要）

平成25年2月5日
山形大学

1. 有機エレクトロニクスシンポジウム in 米沢 2013「有機エレクトロニクスの未来を切り開く」を開催

山形大学・山形県の「地域卓越研究者戦略的結集プログラム（独立行政法人科学技術振興機構）」を中心とする、産学官連携による有機エレクトロニクス関連研究開発のこれまでの成果と、産業化へ向けた今後の展開についてをテーマに、シンポジウムを開催します。

シンポジウムでは、三菱化学株式会社 取締役 常務執行役員 鈴木 龍男 氏による基調講演と、本学の時任 静士 卓越研究教授を座長としたパネルディスカッションが行われます。

日時：3月1日（金）10時00分～12時00分

場所：伝国の杜 置賜文化ホール（山形県米沢市丸の内1-2-1）

〔詳しくは、別添の資料をご覧ください〕

2. 山形大学YU-GP 教育プログラム「現地学習を中心にした災害復興学の実践」の学生報告会を開催

山形大学のYU-GP制度*に採択された教育プログラム「現地学習を中心にした災害復興学の実践」は、今年度人文学部で後期に開講されている科目「地誌学」に導入されました。

受講学生は、昨年10、11、12月に東松島市において現地学習を行い、この3回の現地学習に関するレポートを基に行ったグループ・ディスカッションについて、今回報告いたします。

日時：2月9日（土）13:30～16:00

場所：ゆうキャンパス・ステーション（山形市：山形むらきさわビル1階）

対象：一般，高校生，本学学生

*YU-GP制度：各教育プログラムの教育体系に責任を持つ「教育ディレクター」が、各教育プログラム内で行う、各種の教育改革を支援するため、財政的に支援するという学内のGP制度。

〔詳しくは、別添の資料をご覧ください〕

3. やまがた夜話 最上義光 - 没後400年を記念して - の開催

「大学コンソーシアムやまがた」では、「もう一つの人づくり」を実現するため、「山形県の人・モノ・地域作り」をテーマに、それぞれの得意分野で活躍している第一人者の方に、皆様へわかりやすいお話しをしていただいております。

2月は、「最上義光 - 没後400年を記念して - 」をテーマに開催します。

日時：2月6日（水） 松尾 剛次 氏 山形大学人文学部 教授

2月13日（水） 菊地 仁 氏 山形大学人文学部 教授

2月20日(水) 片桐 繁雄 氏 前上山市立図書館館長

2月27日(水) 保角 里志 氏 放送大学山形学習センター 事務長

*全回、18:30から19:30まで

場 所：ゆうキャンパス・ステーション (山形市：山形むらきさわビル1階)

対 象：高校生・学生・一般市民 定員50名(参加費は無料)

(詳しくは、別添の資料をご覧ください)

4.大学コンソーシアムやまがた 合同企業説明会の開催

平成26年3月卒業・修了予定の本コンソーシアム加盟機関の学生、及び平成26年3月卒業・修了予定の山形県出身の学生を対象として、大学コンソーシアムやまがたが主催し、合同企業説明会を開催します。

日 時：2月22日(金) 13時00分～16時00分

(11:30から受付開始。12:00～12:45までは就職ガイダンスを開催)

場 所：山形市保健センター(霞城セントラル 3F)

(詳しくは、別添の資料をご覧ください)

5.イオンモール石巻で「科学で東北を盛り上げ隊@石巻」を開催

やまがた「科学の花咲く」プロジェクト*と文部科学省「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」が主催し、イオンモール石巻において、「科学で東北を盛り上げ隊@石巻」を開催します。スライム実験や磁石を使った実験、入浴剤や芳香剤を作る実験など大人も子供も楽しめる実験を通して、楽しい科学を紹介します。

日 時：2月24日(日) 10時00分～15時00分

場 所：イオンモール石巻

*やまがた『科学の花咲く』プロジェクト：昨年度まで独立行政法人科学技術振興機構(JST)の支援により、山形大学が山形県、県内関係機関とともに地域の科学舎推進事業「地域ネットワーク支援」として、3年間行ってきた事業を、今年度も継続して大学や県などで実施している。

(詳しくは、別添の資料をご覧ください)

有機エレクトロニクスの未来を切り開く

山形大学・山形県の「地域卓越研究者戦略的結集プログラム(独立行政法人科学技術振興機構)」を中心とする産学官連携による有機エレクトロニクス関連研究開発のこれまでの成果と、産業化へ向けた今後の展開について情報発信を行うことにより、異業種間や他地域との交流・融合に発展する取り組みを促進し、産業クラスターの形成を目指します。

日時 平成25年**3月1日(金)** 午前10:00~12:00

同日午後には高分子学会主催 有機エレクトロニクス研究会
第2回異業種交流会を開催

※詳細はHPをご覧ください→<http://www.spsj.or.jp/entry/annaidetail.asp?kaisaino=819>

会場 伝国の杜 置賜文化ホール **参加費** 無 料

山形県米沢市丸の内1-2-1 TEL 0238-26-2666

プログラム

10:00~10:05 開会の挨拶

大場 好弘 氏 (山形大学 有機エレクトロニクス研究センター長)

10:05~10:45 基調講演

「KAITEKIにむけた有機エレクトロニクスの展開
~オープンイノベーションへの期待~」

鈴木 龍男 氏 (三菱化学株式会社 取締役 常務執行役員)

10:45~11:45 パネルディスカッション

鈴木 龍男 氏 (三菱化学株式会社 取締役 常務執行役員)

平山 昌伸 氏 (NECパーソナルコンピュータ株式会社 執行役員 常務)

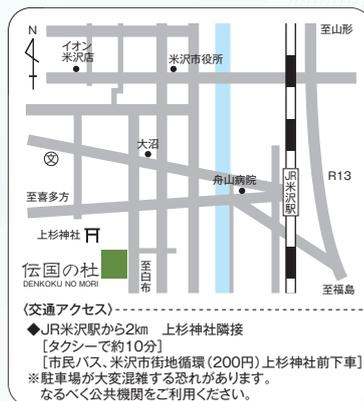
城戸 淳二 氏 (山形大学 卓越研究教授)

吉武 秀哉 氏 (山形大学大学院理工学研究科 教授)

座 長 / 時任 静士 氏 (山形大学 卓越研究教授)

11:45~12:00 質疑応答

この有機EL照明オブジェは、東北バイオニア株式会社
で製造された有機EL照明パネルを用いたものです。
「伝国の杜 エントランス」にてご覧いただけます。



主催/国立大学法人山形大学 後援/独立行政法人科学技術振興機構・財団法人山形県産業技術振興機構・米沢市
※このシンポジウムは山形県置賜総合支庁委託事業「次世代産業技術に関する先端的研究の普及啓発事業」プロジェクトの支援を受けています。

↓こちらからお申込みください

http://www2.yz.yamagata-u.ac.jp/info/form/yukielsympo2013_1.php

上記URLからのお申込みが出来ない方は、FAXにてご連絡ください。

↑携帯からの申込みはこちら

参加 申込 書	有機エレクトロニクス シンポジウム in 米沢 2013				TEL
	会社名	フリガナ	部署 役職	〒	E-mail
	氏名	所在地			

一本人情報の取り扱いについて— ご登録いただいた情報は、参加者の確認にのみ利用させていただきます。

お問い合わせ先: 山形大学工学部 研究プロジェクト支援室

TEL/0238-26-3590 FAX/0238-26-3240 E-mail/edison@yz.yamagata-u.ac.jp

※この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



平成25年2月5日
山形大学

山形大学YU-GP 教育プログラム

「現地学習を中心にした災害復興学の実践」の学生報告会を開催します！

山形大学のYU-GP制度に採択された教育プログラム「現地学習を中心にした災害復興学の実践」は、2012年度後期開講科目「地誌学」に導入され、受講学生は2012年10、11、12月に東松島市において現地学習を行いました。

本報告会は、3回の現地学習に関するレポートを基に行ったグループ・ディスカッションの報告です。本学学生の活動報告を是非お聴きにいらしてください。

場 所：大学コンソーシアムやまがた

「ゆうキャンパス・ステーション」

山形市香澄町1-3-15 山形むらきさわビル1階

電 話：023-628-4842

日 時：2月9日(土) 13:30～16:00

対 象：一般、高校生、本学学生

定 員：50名

(申し込み・問い合わせ先)

山形大学人文学部・教授 山田浩久

電話：023-628-4246

Mail：hyamada@human.kj.yamagata-u.ac.jp



やまがた夜話

テーマ 最上義光 -没後400年を記念して-

2月6日(水) 最上義光再考—新発見の文書を使いつつ
18:30 ~ 19:30 松尾 剛次 氏 (山形大学都市・地域学研究所所長)

2月13日(水) 最上義光武勇伝説の形成
18:30 ~ 19:30 菊地 仁 氏 (山形大学人文学部教授)

2月20日(水) 山形城下町の成立再考
18:30 ~ 19:30 片桐 繁雄 氏 (前上山市立図書館館長)

2月27日(水) 出羽合戦の城と最上義光
18:30 ~ 19:30 保角 里志 氏
(中世城郭研究同人・放送大学山形学習センター事務長)

会場 ゆうキャンパス・ステーション
(山形むらさきさわビル1階)

アクセス 山形駅東口より徒歩1分

対象 高校生・学生・一般市民
定員:50名

入場無料

お申し込み 電話又はチラシ裏面の参加
申込書に必要事項を記入の
上Fax、郵送、メール等でお
申し込みください。



主催

大学コンソーシアムやまがた

お申込み・お問合せ



大学コンソーシアムやまがた

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらさきさわビル1階

Tel: 023-628-4842 FAX: 023-628-4820

E-mail: unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp



FAX:023-628-4820

大学コンソーシアムやまがた事務局 行き

やまがた夜話に参加申込みをします。

必要事項を明記の上、FAX・郵送またはE-mailにてお申込ください。

申込締切日:それぞれの夜話前日までにお申込をお願いいたします。

参加日	参加希望日に☑、又は日付を○で囲んでください。 <input type="checkbox"/> 平成25年2月6日(水) 講師: 松尾 剛次 氏 <input type="checkbox"/> 平成25年2月13日(水) 講師: 菊地 仁 氏 <input type="checkbox"/> 平成25年2月20日(水) 講師: 片桐 繁雄 氏 <input type="checkbox"/> 平成25年2月27日(水) 講師: 保角 里志 氏
住所	〒
氏名	
連絡先	TEL
	E-mail
所属	

受講申込者が多数の場合は、お手数ですが参加申込書をコピーしてご利用ください。

この申込書にご記入いただいた情報は、今回の講座を受講するために必要な事務連絡等に使用すると共に、参加者名簿の作成にのみ使用させていただきます。

【お申込み・お問合せ先】

大学コンソーシアムやまがた ゆうキャンパス・ステーション

〒990-0039 山形市香澄町1-3-15 山形むらさきさわビル1階

TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820 E-mail:unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

大学コンソーシアムやまがた

合同企業説明会



2013年
2月22日(金)

山形市保健センター (霞城セントラル 3F)

参加費
無料



- 【受付】 11:30 ~ (3F 大会議室前)
【就職ガイダンス】 12:00 ~ 12:45 (3F 視聴覚室)
定員100名。定員になり次第、締切らせていただきます。
【合同企業説明会】 13:00 ~ 16:00 (3F 大会議室)

参加企業 山形県及び東北地方の企業
※参加企業は大学コンソーシアムやまがたのホームページに掲載いたします。

参加対象者

- ・平成26年3月卒業・修了予定の本コンソーシアム加盟機関の学生
申込方法: 所属機関の就職支援担当課へお申し込みください。
- ・平成26年3月卒業・修了予定の山形県出身の学生
申込方法: E-mailアドレス (unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp) に、下記
申込事項を記載し、メールにてお申し込みください。

- | | | |
|--------|---------------------------------|------|
| ① 氏名 | ② 所属大学等名 | ③ 学年 |
| ④ 参加内容 | ① 就職ガイダンス ② 合同企業説明会 (例: ①と②に参加) | |



※当日は1社に1枚「企業訪問カード」を提出していただきます。
ホームページよりダウンロード可能です。(当日会場にも準備いたします。)
← QRコードからアドレスを読み取り、携帯からもお申し込みいただけます。

主催
お問合せ

大学コンソーシアムやまがた 後援 山形県
大学コンソーシアムやまがた事務局 (担当: 鈴木・堀)
〒990-0039 山形市香澄町 1-3-15 山形むらきさわビル 1階
TEL:023-628-4842 FAX:023-628-4820
E-mail (unicon@jm.kj.yamagata-u.ac.jp)
URL (http://unicon.kj.yamagata-u.ac.jp/)

科学で東北を盛り上げ隊! @石巻

参加
無料

太陽の広場

歳王・月山展

風船電球

磁石の不思議実験

楽しく理科読 光の本

太陽コピー

風力発電機をつくろう

セパタクローを使って考え、遊ぼう シュワシュワ炭酸入浴剤を作ろう!

からだの重心を動かしてみよう

海の広場

リングキャッチャーに挑戦!

変形菌(粘菌)の広場

モーターをつくってみよう

タケコフターを作ってあそぼう!

クラゲの展示

ワクワク化学実験隊

緑の広場

芳香剤をつくろう、スライム実験、カレイドスコープ

かんたん物理工作、君にもできる皿回し、落ち方のふしぎ

サイエンスショー(10:30~スタート!)

学生サイエンスショー(山形大学 学生)、低温の世界(仙台市科学館)

ワクワク化学マジッククイズショー(東京学芸大学附属高等学校)

世界一受けたいサイエンスショー(ガリオ工房)

日時 平成25年2月24日(日)

10:00~15:00

場所 イオンモール石巻

緑の広場 海の広場 太陽の広場

参加料無料 どなたでも参加できます!

小さなお子様は保護者同伴でお願いします!

- 主催 やまがた「科学の花咲く」プロジェクト(山形大学)
- 共催 文部科学省「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」
山形県立博物館、石巻専修大学、仙台市科学館、ガリオ工房、東海大学、
サイエンス&テクノロジーfor All、コアネット、野老実験クラブ、
東京学芸大学附属高等学校、科学講座研究会
- 後援 石巻市教育委員会、東松島市教育委員会、女川町教育委員会、ソニー(株)、
サカタ理化学(株)、田宮印刷(株)、東京応化科学技術振興財団、日新製薬(株)、
水澤化学工業(株)、鶴岡市立加茂水族館、イオンモール石巻